

電球への思いと、地球への思いが、LED電球を生み出しました。



マツダランプ

1909年に国内初の産業電球を実用化した東芝が、
1912年に発売したマツダランプ電球。その後、
三菱が1915年国内で初めてこのタイプの電球を開発し、
ほぼ同様の一般白熱電球となりました。

1990年、東芝は日本で初めて一般白熱電球を実用化しました。
以来、およそ20年の間、皆さまの家や街を照らし続けてきました。
日本の電球の歴史は、東芝の歴史でもありました。
しかし東芝は2010年を以て、一般白熱電球の製造を中止いたします。^{※1}
少しでも、地球環境のために、その決断に、迷いはありませんでした。

今後、東芝はこれまでにない先進的なあかりで地球を照らし続けます。
それが東芝の技術が結実した「LED電球一般電球形」です。
このLED電球は消費電力が一般白熱電球の約1/6^{※2}
40W相当に置き換えられる明るさ^{※3}を、消費電力わずか4.3Wで
実現しました。寿命も一般白熱電球の約40倍^{※4}の40,000時間を達成。
電球形蛍光灯ランプを上回る省スペース性と長寿命で、
次世代の照明として地球温暖化防止に貢献していきます。

東芝はあかりのフロンティアとして、一般白熱電球の製造中止にも、
新しいあかりの開発にも、真摯に取り組んでいきます。
そして、地球を、私たちの未来を、少しでも明るく照らし続けていきたいと思います。
それが、日本で初めて電球を持った会社としての責任だと思っております。

今後はさらに明るいアイデアを、
LED電球の開発・普及に注ぎ込んでいきます。
東芝がつくる未来のあかりにご期待ください。



E-CORE<イー・コア>
LED電球一般電球形4.3W

一般白熱電球で実用している40W相当のLED電球。
一般白熱電球40W相当の明るさ^{※3}を4.3Wで実現。
寿命も一般白熱電球の約40倍^{※4}の40,000時間を達成しました。
(※4未満保証)

東芝は「ライティング・フェア2009」に参展します。[3月31日～6日 東京ビッグセンター]（当日有料）会場ブースで実際のLED電球をご覧ください。

東芝は環境のことを考えた新しいあかり「LED電球」の開発に取り組んでいきます。

※1 1990年10月に国内で初めて一般白熱電球を実用化した東芝が、1912年に発売したマツダランプ電球。その後、三菱が1915年国内で初めてこのタイプの電球を開発し、ほぼ同様の一般白熱電球となりました。
※2 40W相当の明るさを4.3Wで実現。消費電力が一般白熱電球の約1/6に相当する。消費電力が4.3WのLED電球は、40W相当の明るさを4.3Wで実現。
※3 40W相当の明るさを4.3Wで実現。消費電力が一般白熱電球の約1/6に相当する。消費電力が4.3WのLED電球は、40W相当の明るさを4.3Wで実現。
※4 寿命も一般白熱電球の約40倍の40,000時間を達成。電球形蛍光灯ランプを上回る省スペース性と長寿命で、次世代の照明として地球温暖化防止に貢献していきます。